

銅・アルミレポート

橋本アルミ株式会社取締役

橋本 健一郎



11月のアルミ概況及び12月の見通 (1)

予想レンジ

LME現物後場買い 2,500~3,000ドル

スクラップ +5円~+10円

(前月最終価格より)

為替 155~160円

(1か月間TTM)

■国際概況

2025年11月のLMEアルミは、金融・需給・政策要因が複雑に交錯した月となった。

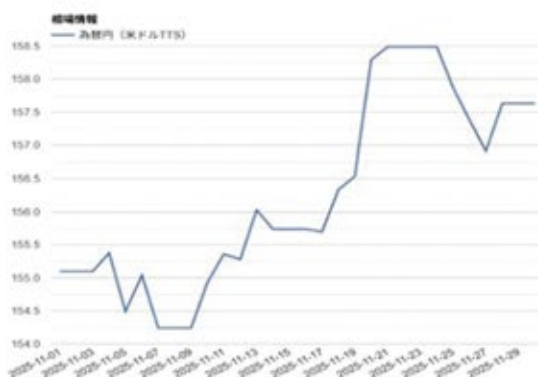
上昇要因は、まず欧米のインフレ鈍化を受けた利下げ観測の再浮上でドル安が進行し、非鉄全体に資金が回帰した点。

そして、中国の公共投資加速やインフラ向け需要の持ち直しが「実需回復期待」を押し上げた点である。

一方、下落要因としては、欧州製造業PMIの低迷により世界需要の先行き不安が強まったこと、さらにアルミ地金の生産再稼働が進み供給増への警戒が高まったことが挙げられる。結果として、11月のアルミ相場は上昇と調整が交互に訪れる神経質な展開となった。

月末日 2,826ドル

■前月の経済指標



◆月間のドル/円レート (TTS)

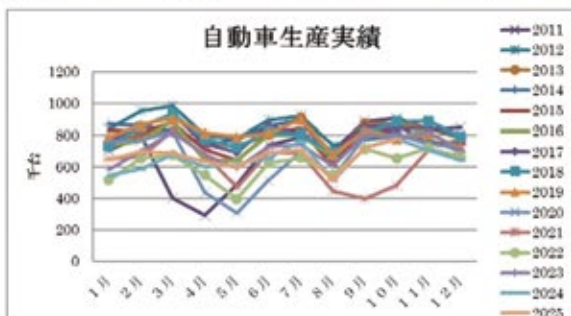
155.10 → 157.63 (円)

■国内指標

◆自動車生産

生産動態統計によると、10月の自動車生産台数は、前年比-0.2%の77万6,072台。輸出は、前年同月比+4%の37万1,559台。

	8月	9月	10月
生産台数	51万7,699台	72万4,397台	77万6,072台
前年比	+0.9%	-0.2%	-0.2%

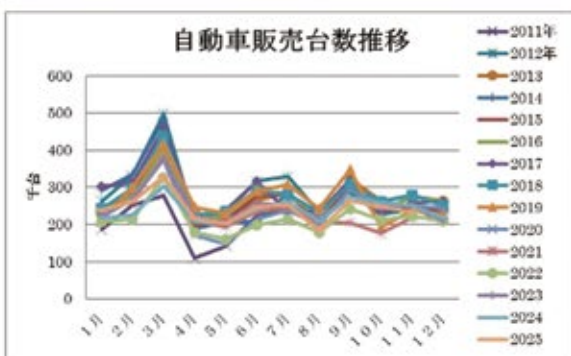


出典 生産動態統計

◆自動車販売

日本自動車販売協会連合会によると、11月の自動車販売台数（軽除く）は、前年比-6.1%の23万4,715台。

	9月	10月	11月
販売台数	26万5,391台	24万7,883台	23万4,715台
前年比	-3.3%	-4.3%	-6.1%



出典 日本自動車販売協会連合会

◆住宅着工戸数

10月の新設住宅着工は、持家が減少したが、貸家、分譲住宅が増加したため、全体で前年同月比3.2%の増加となった。また、季節調整済年率換算値では前月比10.2%の増加となった。

(「11月のアルミ概況及び12月の見通し」つづく)

アルミニウム系・銅・真鍮・ステンレス
各種非鉄金属系

株式会社 原田商店

代表取締役 原田 靖章

〒547-0002 大阪市平野区加美東6-14-30

TEL 06-6793-8128 FAX 06-6793-8128